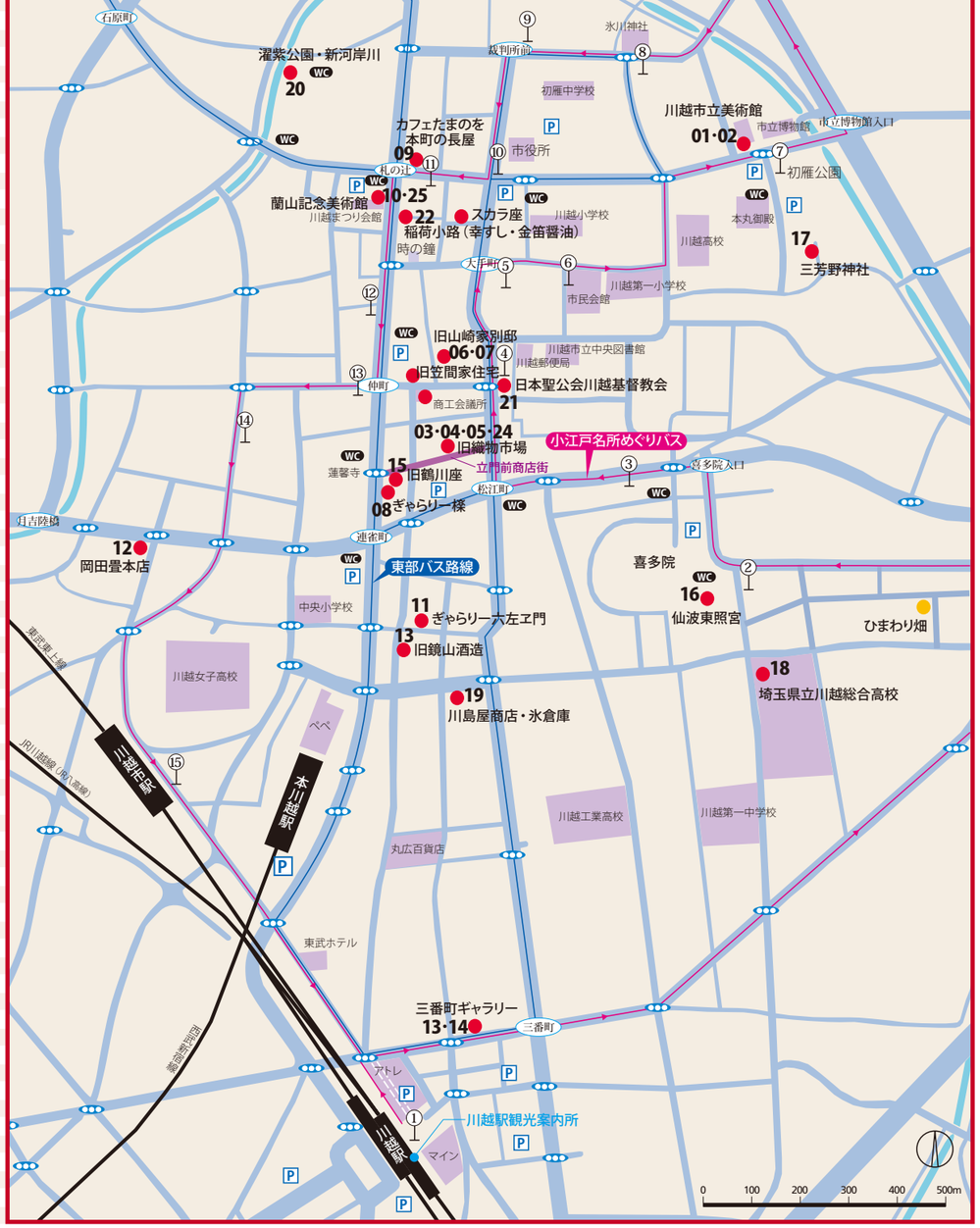
GUIDE MAP



BUS

小江戸名所めぐり・バス停

①川越駅東口
②喜多院前
③成田山前
④松江町２丁目
⑤大手町
⑥市民会館前
⑦博物館前
⑧宮下町
⑨裁判所前
⑩市役所前
⑪札の辻
⑫一番街
⑬仲町
⑭妙昌寺入口
⑮川越市駅
※川越駅東口①に戻る

■小江戸名所めぐりバス
一日フリー乗車券がお得で便利！
小江戸名所めぐりバスルート＋東武路線バスにも乗れる！（指定区間）
300円/大人（小児半額）

土日：3～4本/時間
平日：1本/時間
〈①ー本川越経由ー⑬ー⑫ー⑪の区間は路線バス（本明町車庫、東松山行など）が10分間隔程度〉

乗り場：
東武東上線・JR川越駅東口
改札を出て右3番のりば

一日フリー乗車券のお求めは：
東武トラベル川越支店
東武バスウェスト川越営業所
川越東武マイン（B1サービスカウンター）

01｜**アグネッタ・フロック**［スウェーデン］
（切り絵・ワークショップ）
仙波貝塚のこと、屋根の上のシャチホコの意味、東照宮の小野小町と在原業平の絵、また川越の民話にも興味を持ち、川越に因んだきり絵もつくります。
場所：川越市立美術館市民ギャラリー

02｜**根岸和弘**（インスタレーション・ワークショップ）
風の渦
どこからともなく現われては消えていく風の表情をたくさんの「かざ車」で表現する。
うず巻きの形態は自然のエネルギーをシンボリックに表す。
場所：川越市立美術館中庭

03｜**管 懐賓**［中国］（インスタレーション）
東京芸大に留学中、埼玉県立近代美術館や横浜美術館で個展を開催し、与野在住時には川越でも街の歴史をテーマに展覧会を行いました。その場所に滲みついた歴史が作品によって顕在化されたとき、私たちの視覚は、その空間が内包する街の精神を喚起させてくれます。
場所：旧川越織物市場

04｜**スタジオ羽65**（**山本里子・飯田竜子**）（染・織り）
「縞」ー未来に向かう道ー
かつては賑わっていた織物市場と川越唐桟として
一世風靡した縞織物に思いを馳せ
未来に向かうたくさんの道・筋を表現したい。
場所：旧川越織物市場

05｜**森菊五郎＋アート屋**
（インスタレーション・ワークショップ）
風呂敷もアートだ！
川越の織物「唐桟」、蔵造りや和菓子の江戸文化などから風呂敷をイメージした。
この風呂敷を現代の生活やアートにまで、展開したい。
アート屋の若い作家たちの雑貨も楽しい。
場所：旧川越織物市場

06｜**バーベル・モリ**［ドイツ］（インスタレーション）
これまで紙、布、木などを用い、その場の持つ特異性（サイトスペシィフック）を表現してきましたが、今回はかつて一週間ほど滞在した川越のまちの印象を基に、ビニール袋でおおわれた着物を展示します。着物は古い時代の象徴であり、ビニール袋は現代生活の比喩といえます。
場所：旧山崎別邸

07｜**石坂孝雄**（インスタレーション）
囲いから歩み出る思い　あるいは
箱に収まる安息安寧
現代社会の閉塞感やストレスからの脱却をイメージした、テラコッタを使ったインスタレーション。一方、伝統ある和菓子の老舗の箱詰めの饅頭を思わせる陶は、箱に収まることのやすらぎ、甘さ、平和がもう一つのコンセプト。
場所：旧山崎別邸

08｜**片岡 晶＋相場秀夫**（立体造形＋コラージュ）
“まち―かわごえ―巷”
一つの出会いが二つの出会いになって･･･二つの糸がまちに機(はた)を織る。川越のまちやお店が二人の作家の出会いの中で、新しい風景となって、“歴史と現代”の機(はた)を織りました。川越賛歌の風景が世界に羽ばたきます！
場所：旧笠家住宅・川越商工会議所・旧鶴川座前・ぎゃらりー楽・他
制作コーディネート：大野 洋

09｜**山岸俊之**（インスタレーション・ワークショップ）
長屋から届く不思議な葉書
ある日、不思議な葉書が届く。
いつの時代？　何処かしら？
やがて、現在の川越からであると気付く。
そして、川越が時間と空間を越えた街であると知る。
そんな葉書を川越から参加者自身が発信するイベントです。
場所：本町の長屋・CAFÉたまのを

10｜**高野 勉＋版画フォーラム2008**
版画芸術と地域文化の振興・版画愛好家の交流を目的に、1300年の和紙の伝統を持つ東秩父村において公募展を開催する。その趣旨から出品作品の総てを原則展示し、その中から優秀な作品に対して賞を贈り、これらの作品を再展示して広く紹介する。小川町や銀座などの展覧会を経てこれが最後の展覧会。
場所：蘭山記念美術館
（さいたま県民芸術文化祭2008協賛事業・東秩父村文化振興事業認定）

11｜**吉田康平**（鍛金）
アートの「華」―鉄の棒が「アートに変わる瞬間」―
金属を用いて「花の咲く瞬間」を表現する。金属という素材は自然界にある鉱物である。街中や私達の日常生活の中にもよく目にするが、多くの人には現代のオートメーション化された工業製品のイメージから冷たく無機質で専門家でないと加工は難しいといった所であろう。しかし、工芸品としての金属は柔らかく、温もりもある。
場所：ぎゃらりー六左ヱ門

12｜**百鬼丸**（切り絵）
立体切り絵
単行本の装丁や新聞の連載小説の挿絵などを手がけてきた作家の立体切り絵。
切り絵ライブもお楽しみ！
場所：岡田畳本店

13｜**木谷安憲**（絵画・ワークショップ）
かいてみようライブ
人に見られながら絵を描く　というのは　何とも言えない気分になるものです。また　みんなで一緒に描いていると　大きなエネルギーの中にいることを実感します。ワークショップ参加者には　描く時間も見る時間も　両方大切にしてもらっています。
場所：三番町ギャラリー・旧鏡山酒造
制作協力：川越市立中央小学校（鏡山壁画ワークショップ）

14｜**小澤一雄**（カリカチュア）
OZART
音楽をテーマにしたひとコマ漫画を中心にユーモアアートを描きつづけています。
場所：三番町ギャラリー

15｜**ドロティア・フレイス**［ドイツ］
（インスタレーション）
その土地と自らのルーツを考えるうちに、
人間が流浪することによって生じる
文化的および言語的制約、
そしてさらにそれから派生する様々な問題を
作品として表現します。
場所：旧鶴川座

16｜**三宅光春**（インスタレーション・ワークショップ）
とおりゃんせ　わたりゃんせ
わらべ歌「とおりゃんせ」発祥の地・三芳野神社で遊ぶ子どもたちの姿、歌のイメージを作品にし、大きな木が鬱蒼と茂る境内に設置します。
場所：喜多院・川越東照宮
制作協力：川越第一小学校の生徒さんたち

17｜**木村勝明**（インスタレーション）
竹のドームをとおりゃんせ
川越城本丸跡近くの三芳野神社は、わらべ歌「とおりゃんせ」発祥の地と知り、印象に残った。
子供らと遊べる竹の遊具をインスタレーションとして作りたいと思った。この竹のドームの中を車輪付き台車でくぐりぬけると、今までにない体験をする事になる。
場所：三芳野神社境内

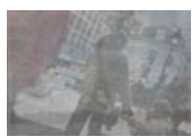
18｜**間地紀以子**（インスタレーション・ワークショップ）
甦るポスⅢ「HEART ON HEART」
川越の街はこの地に生きた人々の思いによって形作られた。田畑に汗を流した農民の思い、商人、舟人の思い、戦いに散った武士の思い、多くの人々の思いを過去から現在へ繋いで、川越は在る。
ワークショップ「川越のこころ・ハートを作ろう」県立川越総合高校の生徒たちが、思い思いの色と形のハートを作り、メッセージや好きな言葉、夢、願いなどを書き込み、川越の心を象徴する大きなハートに取り付けて、思いを重ね、思いを繋げる。
場所：埼玉県立川越総合高校前庭
制作協力：埼玉県立川越総合高校の生徒さんたち

19｜**遠藤麻木子＋duco**（**大社優子・オダギリミホ**）
＋笹田晋司（インスタレーション）
bird's eye
身近な鳥の目線と自在な動きのリズムをイメージしてみる。
その目に映る街はどんな風だろうか？
そしてその目線を街はどのように内包しているのだろうか？
街を眺めるひとつの方法。
場所：川島屋商店・氷倉庫

20｜**大矢りか**（インスタレーション）
ドロの橋
過去と現在をつなぐため　ひととひとをつなぐため
むこうからここへ　ここからむこうへ
時間のへだたりを　私とあなたとのへだたりを
そのへだたりをつなぎたくて　ヒトは橋をかける。
橋を渡れば、橋さえ渡れば･･･此岸と彼岸をつなごうと
私がつくるのは、ドロの橋　あやうげで渡れない
橋があるのに　渡れない。
場所：新河岸川・灌紫公園

21｜**岡島延峰**（鍛金）
聖骸布からの復活
銅版を一枚の布（聖骸布）に見立て、焔と槌のみを用いて、その銅版に、イエスの姿をレリーフにて表現します。最終仕上げは本緑青にて柔らかさをも出し、布の雰囲気が出せればGoodと思います。
場所：日本聖公会川越基督教会

22｜**田中 毅**（石彫）
稲荷小路は動物の小道
川越を散策している人達に、小路にふと心なごむ彫刻として、動物の路傍の石を置いてみたい。
この稲荷小路を何気なく置かれた動物の彫刻の小道にしてみたい。
場所：稲荷小路（笛木醤油川越店～幸すし）



23｜**菱田祐一郎**（WEBアート）
時間を重ねる
時間をテーマに、記憶や記録を作品にしている。
最近は時間軸の違う映像や音を重ねることで
『時間の奥行き』を創り出し、５次元空間を探求しています。
場所：インターネット　http://waerbt.com/p02

24｜**TAKATA 芳樹**（インスタレーション）
“GACHAGACHA”machine. & The head of a sardine (anchovy).
It believes in the head of an anchovy.
「ガチャガチャ（ガチャポン）」てさ、
誰も知らない秘密の宝物が、入っているよ。
お店のおじさんじゃなくて、
例えばさ、イワシの神様が何かを入れたりしてるよ。
場所：旧川越織物市場

25｜**新谷一郎**（石彫）
カバが通り抜ける場所
起　ようこそ　カバ
承　空飛ぶ　カバ
転　カバの池
結　たたずむ　カバ
カバの居る楽しい通り抜け
場所：蘭山記念美術館　屋外通路・パティオ